

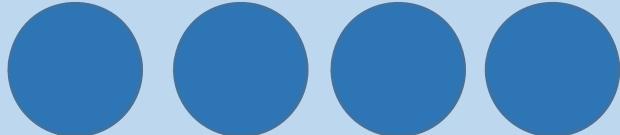
特定保健指導実施率向上のための『モデル実施』試行事業

既に実施率の高い健保から、そうでない健保へノウハウを共有。また、委託業者とモデル実施用保健指導プログラムを共同で開発し、試行的にモデル実施を行うことで**ポイント獲得が主眼となりがちだった従来の特定保健指導から成果(減量)を主眼とした特定保健指導へとシフト**します。委託業者にも成果指向を求ることで特定保健指導の質を向上し、結果として来年度以降の特定保健指導の実施率向上につなげます。

コンソーシアム

◆ナレッジの共有、学習

参加
健保



コンソーシアム参加健保

実施率が高い健保のノウハウをインプット
モデル実施の委託

委託業者

◆モデル実施プログラムの開発、実施

保健事業の
プロフェッショナル

ICTの活用

保健指導
プログラム

モデル実施の試行

フィードバック

対象者

◆モデル実施への参加



モデル実施3か月による
2kg/2cmの成果見込み

【本事業実施後】

モデル実施の本格検討

本格開始に先がけて複数健保でモデル実施に取り組み、2kg/2cmの成果見込みを得られることで、来年度からのモデル実施の活用のハードルが下がり、実施率向上の一助と位置付けられるようになります。

成果指向のプログラム提供

本事業のモデル実施プログラムでは減量という成果を求められるため、受託する側も成果を意識した保健指導に注力します。

特定保健指導の実施率向上

短期集中でICT活用のプログラムに参加し、減量達成にチャレンジします。